



2018年4月25日

各 位

東京都新宿区西新宿6丁目24番1号  
**株 式 会 社 ベリサーブ**  
代表者名 代表取締役社長 新堀義之  
(コード番号:3724 東証第一部)  
問合せ先取締役 高橋 豊  
(TEL 03-5909-5700)

## 連結決算への移行及び2019年3月期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2019年3月期より連結決算に移行いたしますので、下記のとおり、2019年3月期連結業績予想を公表いたします。

記

### 1. 連結決算の開始について

当社は、2016年1月27日付「子会社の異動を伴う株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」において公表しましたとおり、2016年1月29日付で株式会社ベリサーブ沖縄テストセンター(旧 株式会社GIOT)を子会社化いたしました。重要性が乏しいことから連結決算を採用しておりませんでした。

しかしながら、同社におけるニアショア検証業務が拡大している昨今の情勢を鑑み、2019年3月期 第1四半期より連結決算に移行することといたしました。

### 2. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

今後、ICT(情報通信技術)を活用した様々な製品やサービスの開発が一層進展すると共に、IoT時代の到来により、従来、ITとはあまり結びつかなかった社会インフラや様々な機器に対するシステム投資が活発化することが見込まれています。このような中、ソフトウェアの活用領域が広がると共にソフトウェア自体の複雑化が予想され、今後も検証ニーズが拡大していくものと予想しています。

自動車分野では、お客様との取引を深耕していくためにお客様に密着した事業活動を展開し、さらに自動車メーカーやサプライヤーなど新たなお客様の開拓も進めてまいります。

エンタープライズ向けアプリケーション分野では、次期の成長を加速させるため、2018年4月よりエンタープライズ事業部とWEBサービス事業部を統合しITシステム事業部に改組しました。当該分野における取り組みを強化し、システム開発手法に合わせた検証ノウハウの共有やPMO業務の推進、テスト自動化ソリューションやプロセス診断・改善などの様々なサービスを複合的に提供してまいります。

今後、あらゆる製品やシステムで必要となるサイバーセキュリティやOSSのライセンス管理などの新たなソリューションを提供することで、お客様の製品やシステムの品質向上に貢献していく考えです。

一方、当社独自のサービスやツール開発へのシステム化投資は、検証サービスの高度化や効率化を図るために不可欠であり、継続していく考えです。

また、IT分野における人材が不足している状況が継続すると見込んでおり、当社においても優良な技術者の採用・育成は重要な課題と認識しています。エンジニアの積極的な採用を推進すると共に、採用した要員の育成にも注力し人材への投資を加速してまいります。

これらを踏まえ、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想は、下記のように見込んでおります。

2019年3月期連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
中間	5,810	670	670	440	84円34銭
通期	12,500	1,600	1,600	1,070	205円11銭

(注1) 2018年3月期は、連結決算を行っておりませんので、対前期増減率は記載しておりません。

(注2) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値とは異なる場合があります。

以 上